Chapter VI

埼玉県地域のダイバーシティ研究環境実現

彩の国女性研究者ネットワークの活動

埼玉大学は埼玉県の女性研究者･技術者が相互に交流し、女性研究者・技術者の活躍を推進するために、埼玉県の5つの研究機関（環境科学国際センター、衛生研究所、産業技術 総合センター、農業技術研究センター、がんセンター臨床 腫瘍研究所）とともに、2017年6月6日、「彩の国女性研究 者ネットワーク」を立ち上げました。

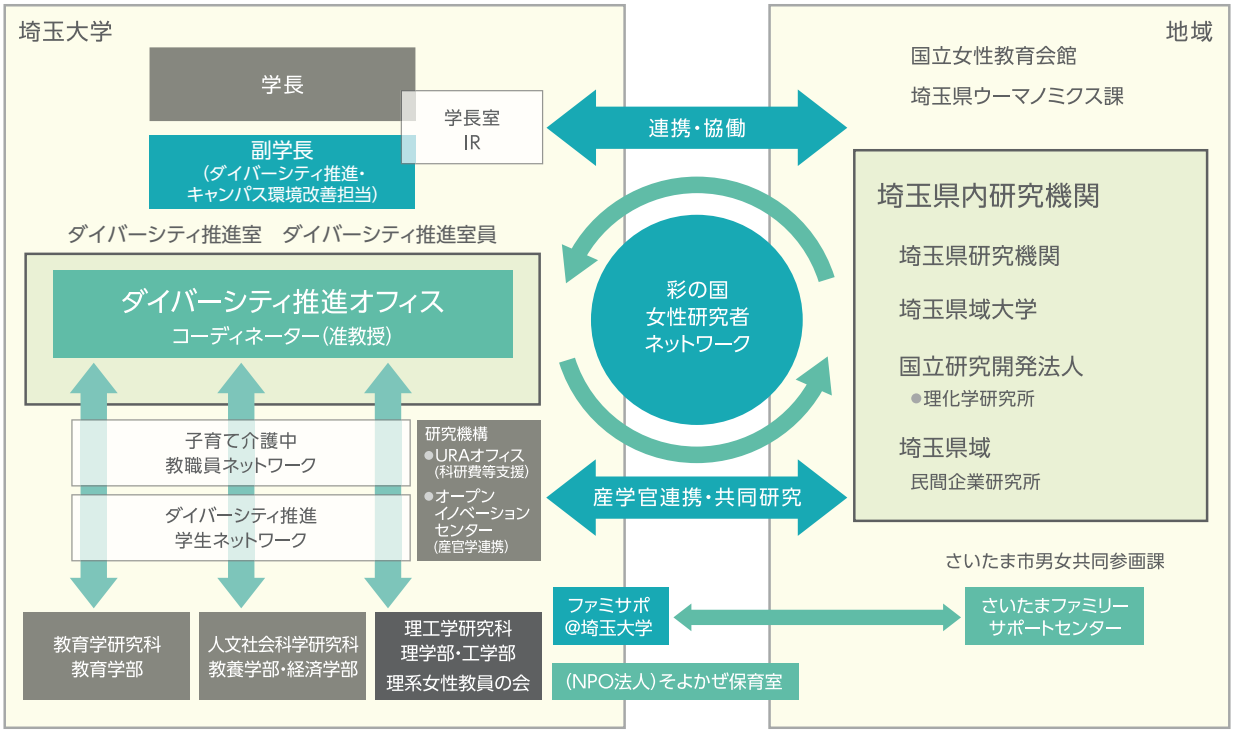
埼玉大学ではこの「彩の国女性研究者ネットワーク」を県内企業、研究機関、大学等に拡大し、女性研究者・技術者の活躍により、埼玉県地域全体のダイバーシティ推進を図り、多様な視点と発想による研究・技術開発のさらなる活性化を目指しています。また、女性 研究者・技術者や男女共同参画（ダイバーシティ推進）担当者の方々と共に、男女を問わず子育て・介護などのライフイベントの中にある研究者･技術者が働きやすい環境づくりに取り組み、さらに、このネットワークの活動を通して、研究者や技術者を目指す女子学生に多様なロールモデルやキャリアパスを示し、次世代研究者・技術者育成を促進しています。

2021年2月1日現在、「彩の国女性研究者ネットワーク」には、21機関（大学3機関、埼玉県内研究機関5機関、国立研究開発法人1機関、民間企業研究所12機関）が参画しています。本ネットワークの活動として、2020年11月20日（金）と24日（火）の2日間に渡り、研究機関訪問オンラインセミナーを実施しました。今年度は、日本ピストンリング株式会社、大正製薬株式会社、日本信号株式会社（本報告書34ページ掲載）を訪問しました。2021年2月5日（金）には、第4回彩の国女性研究者シンポジウム「ダイバーシティ時代における研究者・エンジニアの働き方～ウィズコロナ／ポストコロナに向けて～」を開催しました（本報告書 42ページ掲載）。また、2021年3月5日（金）には、セミナー「ダイバーシティに配慮したオンライン運営」を開催しました。

【彩の国女性研究者ネットワーク参画機関】

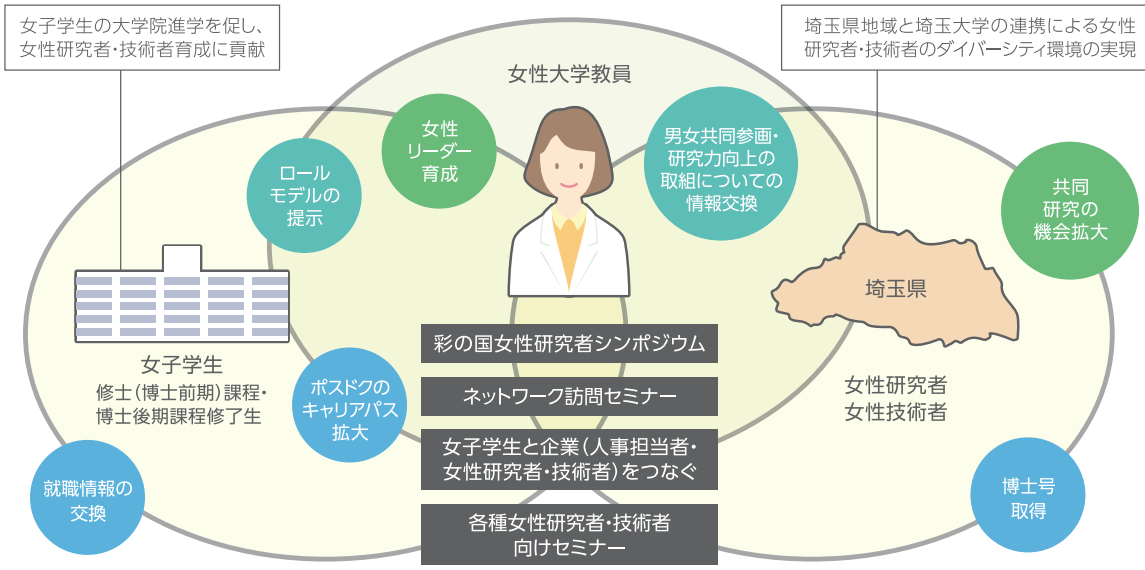
1　埼玉県環境科学国際センター
2　埼玉県衛生研究所
3　埼玉県産業技術総合センター
4　埼玉県農業技術研究センター
5　埼玉県立がんセンター
6　国立研究開発法人　理化学研究所
7　大正製薬株式会社
8　マレリ株式会社
9　日本信号株式会社
10　シチズン時計株式会社
11　公立大学法人　埼玉県立大学
12　株式会社　井口一世
13　株式会社フェニックスエンジニアリング
14　株式会社タムロン
15　ボッシュ株式会社
16　日本ピストンリング株式会社
17　学校法人　芝浦工業大学
18　サイデン化学株式会社　浦和工場
19　ポーライト株式会社
20　株式会社オリジン
21　埼玉大学

彩の国女性研究者ネットワーク実施体制



彩の国女性研究者ネットワークによる取組

女性研究者・技術者の交流による活躍推進：女性研究者・技術者が働きやすい研究環境整備



彩の国女性研究者ネットワークを活かした女性研究者等のすそ野拡大

第４回
彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム

日時 2021年２月５日（金）　**場所** オンライン（zoom）

2021年２月５日（金）、「第４回彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム」を開催しました※1。今年度は「ダイバーシティ時代における研究者・エンジニアの働き方～ウィズコロナ / ポストコロナに向けて～」をテーマに、オンラインでの開催ということもあり、本学教職員・学生をはじめ、彩の国女性研究者ネットワーク参画機関の方々、他大学、民間機関・公的機関の方々等、170名の方が参加されました。

坂井貴文学長の開会挨拶に続き、本年度みずき賞※2を受賞された情報メディア基盤センター　長谷川有貴准教授のスピーチが行われました。続いて、田代副学長（ダイバーシティ推進・キャンパス環境改善担当）より、本シンポジウムの意義や当ネットワークの趣旨についてご説明いただきました。

基調講演では、「変革を実践するための対話を考える」と題して、大学院人文社会科学研究科　宇田川元一准教授にご登壇いただき、ご自身のダイバーシティの重要性を感じた経験や変革に向き合うことの必要性やそのための対話の方法についてお話しいただきました。講演後、参加者からは、「守るべきものがそれぞれ違うときはどのようにしたらよいか」などの質問が寄せられました。

※１　彩の国女性研究者ネットワークとは、ネットワーク参画機関が相互に協力・連携して、女性研究者・技術者が活躍しやすい環境づくりに寄与することを目的として、平成29年度に立ち上げたネットワークです。

※２　みずき賞は、教育研究活動に顕著な功績を残し、かつ女性研究リーダーとして活躍する女性研究者を学長が表彰するものです。

開会挨拶をする坂井学長

シンポジウムの意義を説明する田代副学長

基調講演での宇田川准教授

パネルディスカッションの様子（（写真上・左から）鈴木氏、幅崎氏、高橋氏、（写真下・左から）宇田川氏、本多氏）

パネルディスカッションでは、大学院理工学研究科 高橋朋子助教、株式会社オリジン研究開発本部知的財産室　本多さおり室長、埼玉県立大学　鈴木玲子副学長（発表順）にご登壇いただき、機関紹介やご自身の研究内容、コロナ禍での研究活動などについてお話しいただきました。

引き続き、トークセッションが行われ、モデレーターのダイバーシティ推進室　幅崎副室長からコロナ禍で進むオンラインでのコミュニケーション、新しいコミュニティへの適応の難しさやコロナ後の働き方がどうなっていくかについてなど、参加者からの質問が紹介され、各登壇者にご意見を伺いました。

シンポジウム終了後のアンケートでは、参加者からは「オンラインであるからこその利点の詰まったシンポジウムだった」「オンラインという新たなコミュニケーション方法を用いて、今までの自分の視野にとらわれず、積極的に他者や他文化を理解できるように努めたい」といった感想が寄せられ、参加者の満足度の高いシンポジウムとなりました。

彩の国女性研究者ネットワークには、現在 21 の機関が参画しており、本シンポジウム開催にあたり各機関の研究者・技術者の方々にご協力いただきました。

ご参加いただきました皆様、ご協力をいただきました皆様、誠にありがとうございました。

フライヤー

彩の国女性研究者ネットワークオンラインセミナー

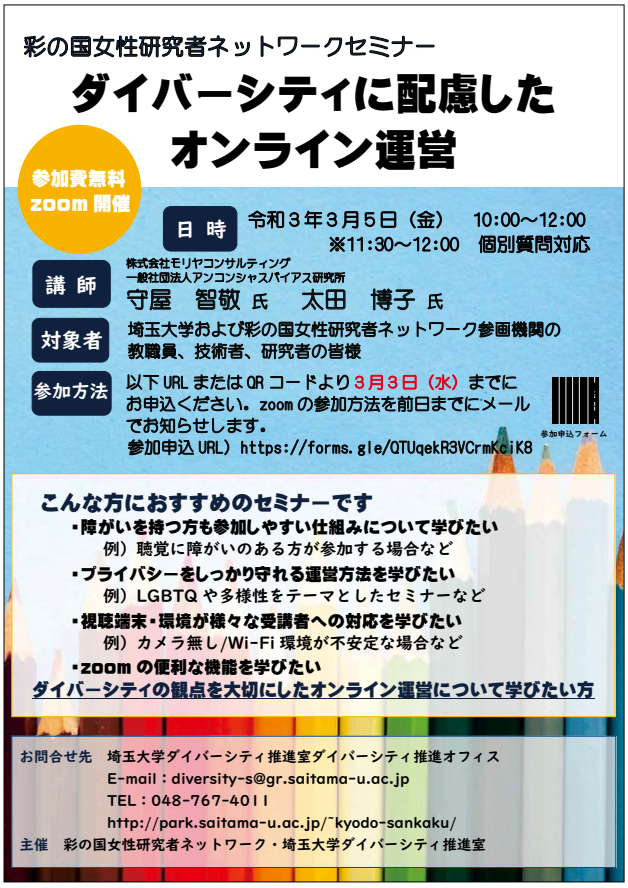
ダイバーシティに配慮したオンライン運営

日時 2021年3月5日(金)　**場所** オンライン(zoom)

2021年3月5日（金)、ダイバーシティ推進室と彩の国女性研究者ネットワークの共催企画として、株式会社モリヤコンサルティング・一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所　守屋智敬氏、太田博子氏を講師に迎え、埼玉大学及び彩の国女性研究者ネットワーク参画機関の教職員、技術者、研究者を対象とする「ダイバーシティに配慮したオンライン運営」セミナーをオンライン(zoom)にて開催しました。セミナー当日は、20名の参加があり、参加者は実際に「アンコンシャスバイアス」セミナーを体験した後、体験セミナーを振り返りながら、ダイバーシティの観点での工夫点などを2時間にわたって学びました。

前半の体験セミナーでは、zoomのチャット機能、投票機能やMentimeterといったツールを使い、無意識のアンコンシャスバイアスについて学びました。その後、ダイバーシティの観点でセミナー運営に必要なことを学んでいきました。講師からは、運営においては受講者の参加環境が様々であることに思いを寄せられるかどうかといった参加者への配慮や寛容さが重要であるとのお話しや講師・パネラーに注目してもらうためのテクニックの紹介などがありました。

参加者からは、「インタラクティブなオンライン授業、セミナーの運営の仕方やテクニックを学ぶことができた」「2つセミナーを受けたようで説得力があり、自分が体験しているので理解しやすかった」といった声が聞かれ、大変有意義なセミナーとなりました。



オンライン運営セミナーチラシ

彩の国女性研究者ネットワーク 運営委員会・担当者連絡会

運営委員会

本ネットワークには「彩の国女性研究者ネットワーク運営委員会」を設置しており、事業計画や事業内容について審議をしています。

本年度は、6月29日に「令和2年度第1回運営委員会」を開催しました。運営委員会では、「彩の国女性研究者ネットワーク会則」が改正され、本年度より、運営委員長には埼玉大学ダイバーシティ推進・キャンパス環境改善担当副学長が、運営委員会に運営副委員長を置くことが承認されました。今年度の運営委員は別表の通りです。

彩の国女性研究者ネットワーク　運営委員（令和2年度）

敬称略

	名　前	所属機関
運営委員長	田　代　美江子	埼玉大学
運営副委員長	幅　崎　麻紀子	埼玉大学
運営委員	黒　川　秀　樹	埼玉大学
運営委員	荒　木　稚　子	埼玉大学
運営委員	日　原　由香子	埼玉大学
運営委員	松　本　利　恵	埼玉県環境科学国際センター
運営委員	澁　木　優　子	埼玉県衛生研究所
運営委員	大　澤　浩　一	大正製薬株式会社
運営委員	坂　元　智	マレリ株式会社

担当者連絡会

毎年、参画機関どうしの情報交換のため、「彩の国女性研究者ネットワーク担当者連絡会」を開催しています。今年度は、2021年2月5日に実施しました。担当者連絡会では、令和２年度の活動報告及び令和３年度の活動計画案についての説明の後、ネットワークの長期的な活動ビジョンについての意見交換を行いました。その中で、ネットワークへの期待や課題も挙げられました。来年度は、こうした意見に応えるべく、活動を拡充していきます。

担当者連絡会での意見の抜粋

課題

- ネットワークを機関内部で周知するためにはどのようにすべきか。
- 女性だけでなく、若手のネットワークも必要。
- 在宅ワークが増えて時間管理も厳しく、今年度は不可的な活動がなかなか難しい。
- 「彩の国」だけに限定した方がよいのか迷う。
- 女性の新入社員になかなか来てもらえず、どのように進めていくと良いのかわからない。

期待・提案

- 女性も増えてきているので、ネットワークを利用していきたい。
- 学生向けの事業と参画機関向けの事業の２つの線引きをして進めることができると良い。
- オンライン研修は参加しやすいので、これからも行っていくと良い。
- シンポジウム等を通して、各機関の発表の場があるというのは良い。
- 大学との連携や共同研究開発の機会に期待している。
- 女性の採用にも繋げていきたい。
- 単独での見学会などは難しいので、ネットワークで見学会やセミナーがあると有難い。
- 学生のリクルートでも期待している。
- 県内の研究所の方と知り合うことのできる貴重な機会。

活動記録

年月日	活動内容
2017年　～継続中	文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）に採択
2018年 4月～継続中	ダイバーシティ相談
2018年 4月～継続中	新規採用教職員に研究倫理eラーニング受講を義務付けて実施
2018年 4月～継続中	彩の国女性研究者ネットワーク参画機関訪問（オンライン・2回）
2019年 4月～継続中	国際共同研究スタート相談
2020年 4月 1日	「男女共同参画室」から「ダイバーシティ推進室」に名称変更
2020年 4月～	令和2年度ファミリー・サポート補助事業実施
2020年 4月～	令和2年度病児保育利用補助事業実施
2020年 4月16日	第1回ダイバーシティ推進室会議（オンライン）
2020年 5月 1日	「ダイバーシティ推進オフィス要項」を一部改正
2020年 5月 8日～ 5月15日	第2回ダイバーシティ推進室会議（メール会議）
2020年 5月18日	第1回ダイバーシティ推進室研究補助制度採択者決定
2020年 5月20日	第1回男女共同参画調査WG会議（オンライン）
2020年 5月28日	「埼玉大学ダイバーシティ宣言」の制定
2020年 6月 5日	第3回ダイバーシティ推進室会議（オンライン）
2020年 6月10日	第2回男女共同参画調査WG会議（オンライン）
2020年 6月12日	彩の国女性研究者ネットワーク機関対象の登録事項調査の実施
2020年 6月24日	第3回男女共同参画調査WG会議（オンライン）
2020年 6月29日	彩の国女性研究者ネットワーク運営会議（オンライン）
2020年 7月22日	第4回ダイバーシティ推進室会議（オンライン）
2020年 7月23日～ 8月11日	第1回職場環境づくりWG会議（メール会議）
2020年 8月 1日～ 9月13日	「安心・安全な学生生活のために」講習会（オンデマンド形式）
2020年 8月25日	第1回女性研究者支援WG会議（オンライン）
2020年 8月27日	第1回ダイバーシティ・ジェンダー平等意識啓発WG会議（オンライン）
2020年 9月 1日	第1回学生支援WG会議（オンライン）
2020年 9月 7日	理系女性教員の会（オンライン）
2020年 9月16日	第2回学生支援WG会議（オンライン）
2020年 9月28日	第2回職場環境づくりWG会議（オンライン）
2020年 9月23日～10月20日	第3回男女共同参画推進に関する意識実態調査の実施
2020年 9月29日	第5回ダイバーシティ推進室会議（オンライン）
2020年 9月29日	第2回ダイバーシティ推進室研究補助制度採択者決定
2020年10月 1日～	研究科長・学部長面談（女性教員採用等に関する意見交換）の実施（4回：10月1日・2日・9日・12日）
2020年11月11日	第12回ダイバーシティ推進室講演会（オンライン）
2020年11月19日～	女性職員キャリアメイキング・ワークライフバランス支援策ヒアリングの実施（5回：11月19日・27日、12月4日・9日・17日）
2020年11月20日	彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー（オンライン） 開催：日本ピストンリング株式会社
2020年11月24日	彩の国女性研究者ネットワーク訪問セミナー（オンライン） 開催：大正製薬株式会社、日本信号株式会社
2020年12月 7日	そよかぜ保育室との意見交換実施
2020年12月 9日	第2回ダイバーシティ・ジェンダー平等意識啓発WG会議（オンライン）
2020年12月24日	第6回ダイバーシティ推進室会議（オンライン）
2021年 1月14日	彩の国女性研究者ネットワーク参画促進のための機関訪問（オンライン）
2021年 1月20日～ 1月26日	第7回ダイバーシティ推進室会議（メール会議）
2021年 1月27日	第3回ダイバーシティ推進室研究補助制度採択者決定
2021年 1月29日	第3回ダイバーシティ・ジェンダー平等意識啓発WG会議（オンライン）
2021年 2月 5日	彩の国女性研究者ネットワーク担当者連絡会（オンライン）
2021年 2月 5日	彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム（オンライン）開催
2021年 2月16日	ハラスメント防止研修会（オンライン）開催
2021年 3月 5日	彩の国女性研究者ネットワークセミナー（オンライン）開催
2021年 3月30日	2020年度ダイバーシティ事業活動報告書発行
2021年 3月30日	第3回男女共同参画推進に関する意識・実態調査報告書発行

編集後記

今年度もダイバーシティ推進事業活動報告書を刊行することができました。多くの皆様にご協力いただきましたことを感謝いたします。男女共同参画室としてスタートして４年目の今年は、当室にとっても大きな変革の年となりました。男女共同参画室からダイバーシティ推進室となり、新室長のもと、教職員 18 名が参加する組織となりました。今年度当初は、コロナによる初めての緊急事態宣言の中、これからどうなるのかと不安なスタートとなりましたが、１年を振り返ると、室員の力を結集して、昨年度にも増して、アクティブに活動を行うことができたのではと自負しています。と同時に、多くの課題も見えてきています。来年度も、皆の力を結集しながら、多様な人々が個性を活かすことのできる環境づくりを行って参ります。どうぞよろしくお願い致します。

編集委員を代表して　幅崎麻紀子

『2020 年度　ダイバーシティ推進事業活動報告書』編集委員

田代美江子	Mieko Tashiro
幅崎麻紀子	Makiko Habazaki
牧　ちひろ	Chihiro Maki

科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（特色型）」

2020年度ダイバーシティ推進事業活動報告書

国立大学法人埼玉大学
ダイバーシティ推進室　ダイバーシティ推進オフィス

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL/FAX：048-767-4011（内線5185）
E-mail：Diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp
http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/

発行：2021年3月

Saitama University
埼玉大学

埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん

埼玉大学ダイバーシティ推進室　ダイバーシティ推進オフィス
住所：埼玉県さいたま市桜区下大久保255
電話番号・ファクス：048-767-4011
メールアドレス：diversity-s@gr.saitama-u.ac.jp